

新任 社外取締役メッセージ



鈴木 善久

社外取締役
社長指名諮問委員会委員
人事諮問委員会委員
報酬諮問委員会委員
コーポレート・ガバナンス委員会委員

社外取締役就任にあたり

新たに社外取締役に就任しました鈴木です。航空機エンジニアに憧れ工学部に進学しましたが、優秀な同級生や先輩を見てこれは敵わない、ならばと、航空機を取り扱う総合商社に入社。以来40数年、航空宇宙防衛分野での営業に始まり、米国統括会社のCEOや国内製造事業会社の経営、本社においては、情報金融カンパニープレジデント、CDO/CIO、そして代表取締役社長COOとして、情報と金融の融合や脱炭素への取り組みなどさまざまな事業経験を積んでまいりました。現在は、伊藤忠商事株式会社の副会長として、経団連をはじめ、英国市場協議会、日米経済協議会、そして、東阪の経済同友会、商工会議所においてもさまざまな役割をいただいています。これまでの経験がオムロンのさらなる発展の一助となれば幸いです。

先般の安倍元首相の訃報に接し、大変残念な思いです。その安倍氏の流れを汲む岸田首相は、「新しい資本主義」を打ち出しました。新しい資本主義とは何か？ マルチステークホルダー資本主義とも呼ばれますが、それは正に日本古来の「三方よし」、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という総合商社の源流でもある近江商人の理念であり、そして、オムロンの「企業の公器性」を重んじる社憲そのものであると思います。国は、新しい資本主義の実現に向け、制度や仕組みを整えてくれますが、新しい資本主義を実践するのはやはり企業自身です。そのエッセンスは、社員の働きがいを高め、D&Iやイノベーションを推進して社会の諸問題の解決に貢献し、企業価値を向上することにあります。オムロンの長期ビジョンSF2030は、まさにその体现であり、社外取締役としてその実行に参画できることを楽しみにしています。

また、世界は、ロシア・ウクライナ情勢の悪化により従来の秩序が一変しました。今後、少なくとも向こう5年間は、ロシアが世界の最大のリスクになっていくことは間違いありません。そして、もう一つのリスクは、中国というよりむしろ米国にあると見るのが正しいようです。米国の分断は深刻で、政治や外交は内向きとなり以前のようなグローバルリーダーシップを発揮しにくくなっています。日本国も我々企業もしっかりと自分自身で新しい道を切り開いていかなければならぬ時代になったということかと思えます。

オムロンは、既にその技術革新力や先進的なガバナンス体制が広く知られているグローバル企業です。そのオムロンが「新しい資本主義」の先駆者として、そしてまた、ポストコロナの世界秩序の不透明感の中、どう次の高みを目指していくか、これから皆様とともに考え、答えを導き出すことを楽しみにしています。

職歴

1979年4月 伊藤忠商事株式会社入社	2018年4月 同社代表取締役社長COOに就任
2003年6月 同社執行役員に就任	2020年4月 同社代表取締役社長COO 兼CDO・CIOに就任
2006年4月 同社常務執行役員に就任	2021年4月 同社取締役副会長に就任
2007年4月 伊藤忠インターナショナル会社社長(CEO)に就任	2022年4月 同社副会長に就任(現任)
2012年6月 株式会社ジャムコ代表取締役社長に就任	2022年6月 当社社外取締役(現任)
2016年6月 伊藤忠商事株式会社代表取締役専務執行役員に就任	